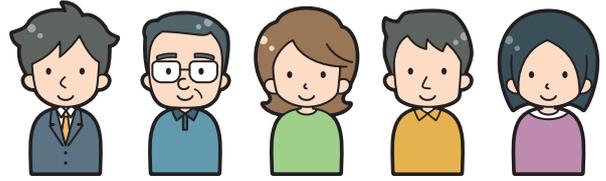


IV

加入した後は？ ～ 退会防止と活動への参加・参画へ～

加入に向けた取組は、「加入してもらうこと」がゴールではありません。

加入し続け、更に関わりを深めてもらうことが、町会の活性化につながっていきます。



1 退会を防ぐために ～一人ひとりの会員を大切に

退会した方の理由には、「町会活動のメリットが感じられない」という声があります。加入後も、継続的な関係づくりや情報発信により、加入の魅力づくりを進めましょう。

集合住宅の入居者には、自分たちが町会の一員であるという認識がない方もいるようです。それぞれの会員に対して、メッセージを届ける工夫をしましょう。

活動に賛同して加入してくれた会員一人ひとりを大切に、関係を深めていきましょう。

■退会を防ぐための基本姿勢と取組

基本姿勢 一人ひとりの会員を大切にする

一人ひとりへの働きかけ

顔の見える関係の継続

- ・日頃の声かけの継続
- ・イベントへの積極的な案内

(p.15 参照)

情報の発信・共有

- ・様々な媒体を利用した情報発信
- ・会員との情報共有

(p.12 参照)

会員へのフィードバック

- ・加入して良かったと思われる活動の展開
- ・会員への還元

(p.17、p.21 参照)



組織への働きかけ

会員の負担軽減

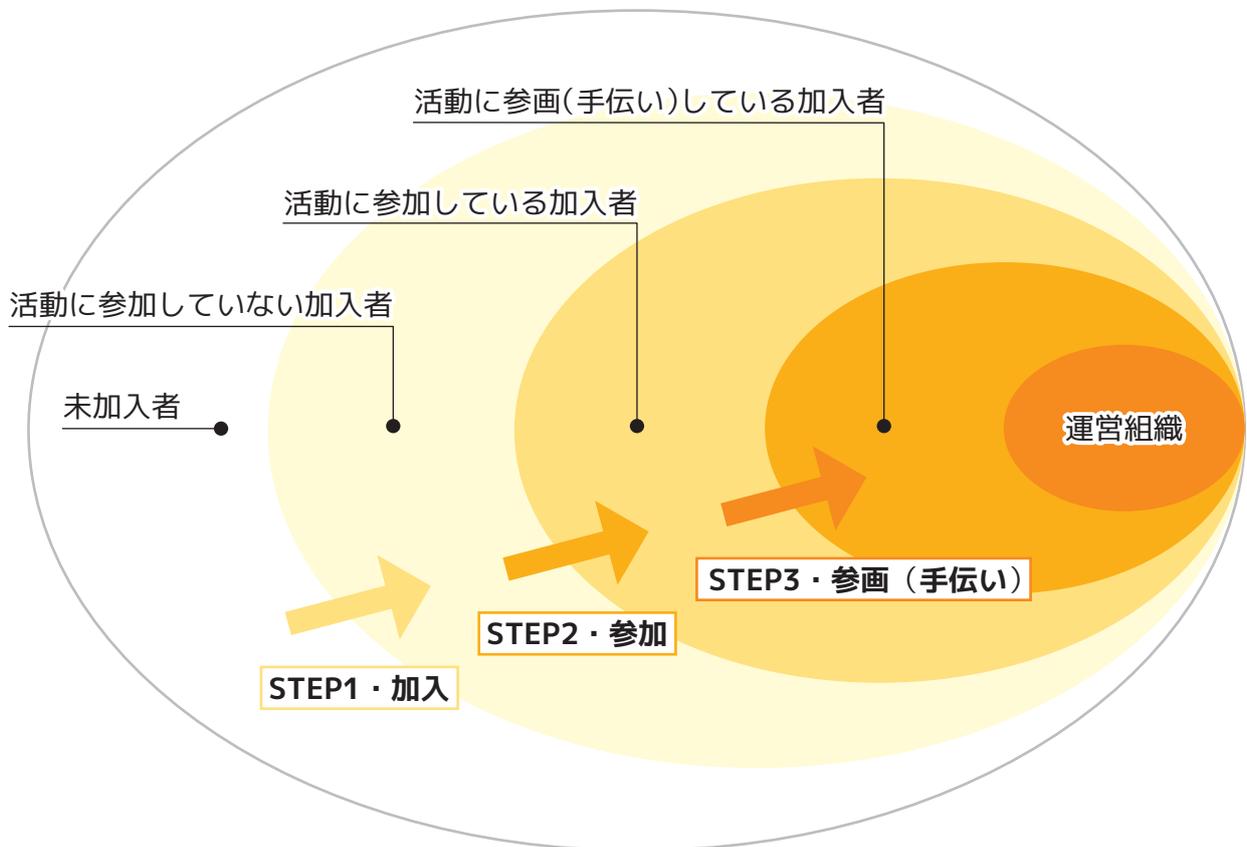
- ・業務の役割分担による個々の会員の負担軽減
- ・マニュアル作成や引継方法の工夫による負担軽減

(p.23 参照)

2 より関わりを深めるために ～参加・参画へ

加入した方が「ただ加入しているだけ」の状況にならないように、行事や運営などに参加、参画してもらうことが、町会活性化のためにも重要です。

会員加入の輪から、参加の輪、担い手の輪へと少しずつ関係を深めていきましょう。



STEP1・加入

町会とのつながりの第一歩として、加入してもらう

STEP2・参加

町会活動に興味を持ってもらい、参加してもらう

STEP3・参画(手伝い)

活動や行事の参加から、少しずつ運営の手伝いをしてもらう

TOPIC!

集合住宅入居者との関係構築



集合住宅が増加する中、町会として集合住宅入居者に活動や運営に参加してもらう重要性は、今後更に増していくのではないかと考えられます。

町会から入居者の方へ連絡がある場合などは、入居者の中で窓口になる方がいるとスムーズに進みます。分譲マンションでは管理組合が設立されますので、管理組合の中から町会の役員を選出してもらう例もあるようです。

集合住宅にお住まいの方の中から将来の町会運営の担い手が生まれる可能性もあります。担い手づくりの観点からも集合住宅入居者との関係づくりは一層重要になっています。

3 町会の活性化に向けて

町会は地域コミュニティの中心的な存在といえます。町会が活性化することで地域の活性化につながっていきます。

下の図は、本書の冒頭で紹介した町会運営の4つの課題（p.3 参照）です。

これらの課題はそれぞれが互いに関連しており、1つの課題が進展すると他の3つの課題へその効果が伝わっていきます。

本書は、4つの課題のうち、特に波及効果が大きく優先度が高いと考えられる「加入促進」に焦点を当てました。会員が増えれば行事や情報発信などにおいて、より充実した活動や安定した組織運営が可能となります。また、新しい会員の加入は、町会の活動や運営に新たな発想をもたらすことも期待されます。

加入促進の取組をきっかけに4つの課題が上手く改善されていけば、おのずとそれぞれが目指す理想の町会像に近づいていきます。

社会状況が変化する中、加入促進に取り組むに当たっては困難を伴うことも予想されますが、できることから進めていくことが重要です。町会を更に活性化させることで、よりよいまちづくりにつなげていきましょう。





町会・自治会活性化のヒント ～加入促進に向けて～

令和5年3月 発行

墨田区地域力支援部地域活動推進課

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋 1-23-20

TEL : 03-5608-3661

<https://www.city.sumida.lg.jp>



